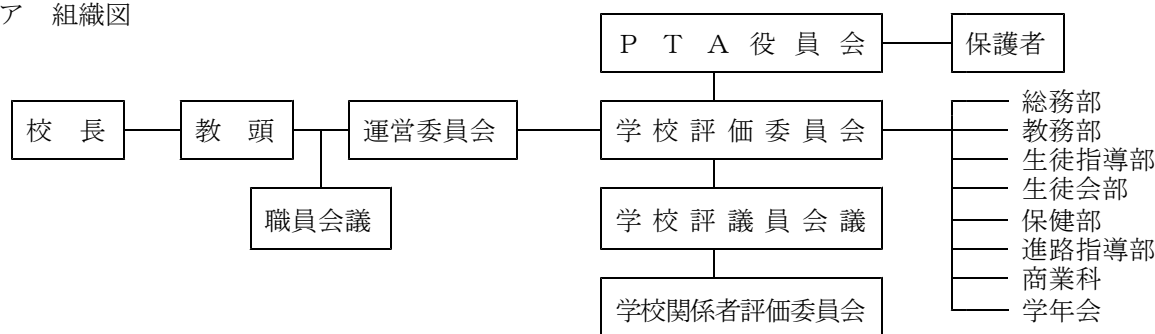


8 学校評価

(1) 学校評価のための組織

ア 組織図



(2) 学校評価の年間計画

実施時期	実施項目	具体的な実施内容	公表の方法
4月～6月	重点目標の設定	目標達成のための具体的な指導計画の検討	<ul style="list-style-type: none"> ホームページへの掲載 保護者への提示（P T A総会） 第1回学校評議員会議及び学校関係者評価委員会の開催及び会議への提示
7月～8月	教員・学校評議員・学校関係者評価委員による中間評価	1学期の取組状況と改善策の検討	<ul style="list-style-type: none"> ホームページへの掲載 保護者への提示（保護者会）
10月～12月	生徒・保護者・教員による中間評価	アンケートを実施	<ul style="list-style-type: none"> ホームページへの掲載
1月～2月	教員・学校評議員・学校関係者評価委員による年度末評価	目標・計画に対する評価	<ul style="list-style-type: none"> 第2回学校評議員会議及び学校関係者評価委員会の開催及び会議における取組の説明 学校評議員及び学校関係者委員による評価
3月	評価のまとめ	教育内容・活動の改善	<ul style="list-style-type: none"> ホームページへの掲載 校誌「ふきのと」への掲載

(3) 本年度の学校評価

本年度重点目標	1 校訓の精神を重んじ、知・徳・体のバランスのとれた人材育成をめざす。 2 安心安全で生徒が主体的に伸び伸びと心身共に鍛えられる学校づくりをめざす。 3 地域社会の発展に貢献できる資質と態度を養い、より一層地域から信頼され必要とされる学校づくりをめざす。 4 教職員の多忙化解消に向け、個人及び組織としての仕事の改善を図る。		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
総務部	○保護者との協力による学校行事への参加と運営を行う。 ○学校行事を良い形で、運営する。 ○メール登録率を92%以上にする。	1 P T Aの役割を明確にし、参加しやすいよう努める。 2 職員の協体制を高め、学校行事を実施する。 3 保護者会やP T A総会を通じてこまめに呼びかけをする。	1 役割を丁寧に説明をし、行事を計画し、参加しやすい日程を計画する。 2 職員の役割を明確にし、協体制の確立に努める。 3 メール配信を活用し、学校情報を伝える。
教務部	○現職研修を推進する。 ○成績不振者を減少させる。 ○図書館を積極的に活用する。 ○新たな学習に向けて教育課程を編成する。	1 現職研修参加人数の参加率の増加を目指す。 2 成績不振者を減少させる。(教務指導・管理職指導対象者の減少) 3 図書館からの情報発信を積極的に行う。 4 教育課程委員会を積極的に開催する。	1 本年度は、全職員の参加体制を整えるために月曜日の業後に現職研修を実施する。 2 学年団、他分掌等と連携し学校全体で学習環境を整える。 3 図書館だより等、積極的な情報発信を行う。また、図書委員会の活動を通して学校全体の読書に対する関心を高める。 4 教育課程委員会を学期に1回開催し、教育課程に関する研究・協議を進める。また、学習評価の充実のための研究も行う。

項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
生徒指導部	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な生活習慣を確立する。 ○集団における規律を遵守する。 安全・安心な学校生活を送る。 ○交通安全指導を含む公共の場におけるのモラル・マナーを向上する。 ○いじめの早期発見、及び適切に事案に対応する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 8時35分教室入室を呼びかけ、40分ST開始を、学年の協力を得て徹底する。気持ちの良い挨拶の習慣と人の話を聞く正しい姿勢を身に付けさせる。 2 学年団を中心に、頭髪・服装指導を継続的に行う。情報モラル向上をめざし、マナー指導を機会あるごとに行う。不審者情報を教室掲示し、注意を喚起する。 3 登校時の交通安全指導・交通安全指導LTの継続、自転車通学者への注意喚起を行う。また徒歩通学者の歩きスマホや歩き音楽プレイヤー利用の撲滅。 4 いじめアンケートの実施方法や、その後の対応の方法について検証し、いじめの早期発見、適切な対応につなげる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 遅刻指数を0.3以下になるように注意喚起する。 2 全職員による生徒指導の体制を維持する。頭髪は、学年生徒指導を中心に指導する。清楚な身だしなみ、情報モラルの向上を図る。 3 交通安全指導を効果的に行うとともに、公共の場でのモラル向上を図る。 4 生徒が記入しやすいアンケートの様式や実施方法、その後の組織的な対応の在り方について検討する。
生徒会部	<ul style="list-style-type: none"> ○自主性を育てる学校行事を運営する。 〔生徒アンケートにおいて〕 生徒満足度80%程度 ○部活動を応援できる環境を整える。 ○委員会活動をより一層充実する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校行事に対し、生徒が主体的に活動できる環境をつくる。生徒アンケートにおける満足度(肯定的意見)80%を目指す。 2 部活動の広報を主要な大会毎に行い、学校全体で部活動を応援できる体制をつくる。 3 執行部による企画運営に早めに着手し、各種委員会と協力し、定期的な情報発信を通して、生徒への意識づけを行う。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 学年会・分掌・生徒代表との連携を密にし、全校で学校行事をつくり上げる意識を大切にし、満足度を80%程度にする。 2 試合予定・結果の広報(表彰を含む)を部活動顧問の協力を得て、確実にを行う。また、定期的に活動参加状況の良好でない生徒に対して、丁寧な指導を行い、転部も含めた活動の定着を図る。 3 執行部と各種委員会でも協力しながら、全校で学校生活に携わり、運営しているという意識を身に付けさせる。
保健部	<ul style="list-style-type: none"> ○口腔衛生状態の改善を目指す。 ○学校環境衛生を充実する。 ○教育相談における校内及び外部機関との連携を充実する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 前年度に引き続き、啓発活動を行うだけでなく、掲示物や保健だよりによる啓発活動を行い、前年度の受診報告書提出率26.7%を上回ることを目指す。 2 通常的环境衛生検査に加え、保健委員による換気チェックを定期的に行い、結果を周知することで換気への意識を高める。 3 生徒の情報を共有し、チームで生徒支援を行う。また、現職研修などを通し、外部との連携を学ぶ機会をもつ。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 特にう歯の多い生徒に予防の具体的方法を啓発し、治療へとつなげる。 2 二酸化炭素濃度の測定値を基準に換気を促す。また、換気チェック表を作成し、保健委員に換気チェックを実施させる。 3 担任や学年主任との情報共有を密にし、現職研修にSSWを招き、研修の機会をもつ。
進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> ○効率的・効果的な進路指導を確立する。 ○自信をもたせる試験対策を検討・実践する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 進路指導支援システムの利用及び改善を行う。 2 推薦入試における小論文・面接頻出テーマ(社会問題等)について指導を行う。 3 LT等において、強みや志望理由を明確にさせる指導を行う。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 進路指導支援システムを実際に先生方に利用してもらうと同時に使い勝手だけでなく必要なデータが出力されるよう改善も行う。 2 国語科による書き方指導の定着と同時に内容についても考えさせる講座を計画、実施する。 3 3年生に対し、強み等を明確にするための指導を行い、「以前より自信がついた」と答える生徒を50%以上にする。

項目 (担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
総合 ビジネス科	<ul style="list-style-type: none"> ○インターンシップの充実を目指す。校内・校外の連携を図る。 ○ビジネスマナー及びプレゼン能力を育成する。 ○高度資格取得に挑戦する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 新しい職種の受け入れ企業10%増を目指す。また、職場体験を通してコミュニケーション能力や商業技能の習得を目指す。 2 授業やインターンシップの活動を通じて、ビジネスマナー及びプレゼン能力の向上を図る。 3 資格取得に積極的に挑戦する。(前年度20%増) 	<ol style="list-style-type: none"> 1 生徒が希望する職種の開拓に努める。また、インターンシップの充実により、商業技能の向上と自己啓発を目指し、進路目標を確立させる。 2 授業や学校行事を通してビジネスマナー及びプレゼン能力を身に付ける。 3 各学年の学習の進捗に応じた資格取得に挑戦させる。
情報科	<ul style="list-style-type: none"> ○情報社会において適切な行動をするための基礎となる知識や考え、態度を身に付ける。 ○高度資格取得に挑戦する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 個人情報保護、人権侵害、著作権等に関する知識を深め、ネットワーク上のルールやマナーを学ぶとともにその危険性を理解させる。 2 資格取得に積極的に挑戦する。(前年度20%増) 	<ol style="list-style-type: none"> 1 ビジネス情報に関する科目を中心に、情報モラルやマナーについて積極的に取り上げる。 2 各学年の学習の進捗に応じた資格取得に挑戦させる。
1年学年会	<ul style="list-style-type: none"> ○気持ちの良い挨拶をできるようにする。 ○高校生活に適応し、基本的な生活習慣、礼儀を身に付けさせる。 ○失敗を恐れず何事にも挑戦する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 挨拶をする意味を理解させ、周りの人と円滑な人間関係を築けるように指導する。 2 自ら考え、正しい行動ができるように働きかける。 3 新しい自分を発見できるように多くのことに挑戦させる。 4 年間皆勤者180名以上、遅刻指数0.2を目指す。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 身だしなみ指導・挨拶の励行を徹底する。 2 行事などを通して他者と協力することや協調性を育む。 3 多くの人と関わり合い、お互いを理解するよう働きかける。 4 生徒の小さな変化に気づけるように健康状態、精神状態を注視する。
2年学年会	<ul style="list-style-type: none"> ○学校の中心学年の自覚をもって学校生活を送る。 ○経験のあるなしに関わらず、色々なことに挑戦する。 ○自主自律の精神を確立する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 身だしなみなど後輩の模範となるように学校生活を過ごさせる。 2 学校生活を過ごす中で色々なことに挑戦するよう促す。 3 周りに流されないなど、自分自身の規範意識を高められるように指導する。 4 年間学年皆勤60日以上、年間皆勤者130名以上を目指す。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 身だしなみ指導・挨拶の励行を徹底する。また、規律正しい生活を守らせる。 2 行事の企画・運営などに積極的に取り組み、旺盛な活力を育む。 3 高い目標を設定させ、常に自己を高める努力をさせる。 4 生徒の健康状態、精神状態に注意し、適切な声かけなどを行う。
3年学年会	<ul style="list-style-type: none"> ○能力・適性に応じた志望進路を実現する。 ○自主自律の精神を確立する。 ○素直な心を育む。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 個人面談などを通して、個々の生徒の能力・適性に応じた進路指導を行う。 2 進路指導部と連携し、進路実現に向けた指導・助言を行う。 3 学校行事などでリーダーシップを発揮できるよう指導する。 4 自分とともに他人を大切にできる態度を育成する。 5 年間皆勤150名以上を目指す。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 生涯を見据えた広い視野から進路選択ができるように面談などを重ねる。 2 面接指導・スピーチトレーニング・作文指導などを通し、自己表現能力を高めさせる。 3 高い目標を掲げ、自己の能力を高めるよう努力させる。 4 私心にとらわれることなく、他の人のことも配慮させる。 5 生徒の健康状態、精神状態に注意し、適切な声かけなどを行う。
学校関係者評価を実施する 主な評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら考え自ら学び自ら行動する力をもった人材の育成 ・実学教育を推進し、コミュニケーション能力を身に付けた人材の育成 ・安心安全な環境づくりと心身ともに健康な人材の育成 ・人権を尊重する精神を重んじ、互いを思いやり「いのち」を大切にできる心と態度の育成 ・授業内容の改善と家庭学習の充実 ・キャリア教育・進路指導の充実と多様化する進路の実現 ・ボランティア・地域貢献活動等の取組 ・業務の適正化を図るとともにストレスチェック結果の活用及び高ストレス者に対する医師の面接指導を通じた教職員の確実・適切なメンタルヘルスの保持 ・学校開錠時間、施錠時間を守り、教職員の適正な勤務管理（在校時間管理）を実施 		

(4) 前年度の学校評価

ア 自己評価結果等

前年度 重点目標	<p>1 校訓の精神を重んじ、知・徳・体のバランスのとれた人材育成をめざす。</p> <p>2 安心安全で生徒が主体的に伸び伸びと心身共に鍛えられる学校づくりをめざす。</p> <p>3 地域社会の発展に貢献できる資質と態度を養い、より一層地域から信頼され必要とされる学校づくりをめざす。</p> <p>4 教職員の多忙化解消に向けた取組をめざす。</p>		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
総務部	<p>○保護者との協力による学校行事の参加と運営</p> <p>○学校行事を良い形で、運営する。</p> <p>○メール登録率85%以上。</p>	<p>1 P T Aの役割を明確にし、参加しやすいよう努める。</p> <p>2 職員の協力を深め、学校行事を実施する。</p> <p>3 保護者会やP T A総会を通じて呼びかけをする。</p>	<p>1 P T A各学年の役割を明確化し、参加しやすいように工夫した。</p> <p>2 P T Aと職員の協力で、前期の学校行事を終えることができた。</p> <p>3 メール登録率は、90%を超えた。今後も、P T Aだより等を通じて登録の呼びかけをしていきたい。</p>
教務部	<p>○組織的な教育課程研究の推進。学期に1回開催。</p> <p>○校務支援システム導入の推進。研修参加率50%以上。</p> <p>○図書館の積極的な活用。</p>	<p>1 教育課程委員会において情報交換及び課題解決のための協議を行う。</p> <p>2 全職員を対象にして、1学期中間考査期間及び1学期期末考査期間に現職研修を開催する。</p> <p>3 図書館来館者数の増加を目指し、情報発信を積極的に行う。</p>	<p>1 教育課程委員会を学期に1回開催し、教育課程に関する研究・協議を進めている。</p> <p>2 現職研修により、校務支援システムへの移行が順調に進んでいる。参加率は、第1回61%、2回55%、3回35%であった。次年度は全職員の参加体制を整えるために月曜日の業後に現職研修を実施する。</p> <p>3 図書館便りをはじめ、積極的な情報発信ができています。図書委員も活発に活動をしている。</p>
生徒指導部	<p>○基本的な生活習慣の確立</p> <p>○集団における規律の遵守、安全・安心な学校生活</p> <p>○交通安全指導を含む公共の場におけるのモラル・マナーの向上</p> <p>○いじめの早期発見、適切な事案対応</p>	<p>1 8時35分教室入室を呼びかけ、40分S T開始を、学年の協力を得て徹底する。気持ちの良い挨拶の習慣と人の話を聞く正しい姿勢を身に付けさせる。</p> <p>2 学年団を中心に、頭髪・服装指導を継続的に行う。情報モラル向上を目指し、使用マナー指導を機会あるごとに行う。不審者情報を教室掲示し、注意を喚起する。</p> <p>3 登校時の交通安全指導・交通安全指導LTの継続、自転車通学者への注意喚起を行う。また徒歩通学者の歩きスマホや歩き音楽プレイヤーの利用の撲滅。</p> <p>4 いじめアンケートの実施方法や、その後の対応のあり方について検証し、いじめの早期発見、適切な対応につなげる。</p>	<p>1 概ねの生徒は8時35分に教室入室ができていない状況である。気持ちの良い挨拶をするために風紀委員やその他生徒の協力を得て多くの生徒が実施できた。</p> <p>2 月に1度の一斉身だしなみ指導と身だしなみの段階指導で頭髪・服装の乱れは少ない状況にある。本校職員による情報モラル講座を行ったおかげで昨年度よりもネットパトロールでの、指摘をうけた生徒は減少した。</p> <p>3 月に1度の交通安全指導と学期に1度の自転車通学者に対する交通安全指導を行い、交通マナーの向上を図った。臨時で立ち番指導を行うことで、登下校のマナーも向上し校外からの苦情も減少した。 一方で交通事故は例年並みであるので減少させる試みを検討していきたい。</p> <p>4 いじめアンケートの実施後の当該生徒への対応は、担任と連携を密に行い、保護者と相談してしっかりと対応することができた。早期発見が可能になり、大事に至る前に対応できている。</p>

項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
生徒会部	<ul style="list-style-type: none"> ○自主性を育てる学校行事運営 ○生徒アンケートにおいて生徒満足度80%程度 ○部活動を応援できる環境づくり ○委員会活動のより一層の充実 	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校行事に対し、生徒が主体的に活動できる環境をつくる。生徒アンケートにおける満足度(肯定的意見)を80%を目指す。 2 部活動の広報を主要な大会毎に行い、学校全体で部活動を応援できる体制をつくる。 3 執行部による企画運営に早めに着手し、各種委員会と協力し、定期的な情報発信を通して、生徒への意識づけを行う。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 執行部が中心となり、行事を企画・運営することができた。生徒が主体的に行動し、行事終了の際の満足度が高まるように来年度も引き続き努力を続けていきたい。 2 部活動の大会予定を春に集約し、生徒に対して広報に努めた。昨年度より始めた部活動紹介VTRを活用し、新一年生の適切な部活動選択に役立てたい。 3 生活委員会をはじめ、各種委員会の活動を来年度も活発に行っていきたい。
保健部	<ul style="list-style-type: none"> ○歯科検診の結果を踏まえた生徒の健康管理 ○教室の環境衛生の充実 ○特別支援教育への取組 ○教育相談室・保健室の新しい利用の方法の定着 	<ol style="list-style-type: none"> 1 生徒に歯科検診の結果を意識させ、啓発活動を引き続き行ない、治癒率の向上を図る。 2 常に換気を啓発し衛生状態を整え、集中力の持続性を高めるとともに感染症を減らす。 3 学年と連携を図り、個別に支援が必要な生徒を把握する。 4 相談室・保健室を有効に利用できるルールを作り、運営する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 長期休業前に保護者にも歯の治療を依頼したが、結果として3割程度の治療率に留まり、知多地区でも口内環境の悪い学校となってしまった。来年度方法を再検討し取り組みたい。 2 換気に関しては概ね協力頂けた。また、感染症も大きな流行もなかった。 3 個別の支援に関しては、特別な事例も出ず、要観察生徒も問題なかった。 4 人事面での大きな変化もあったが、担当の先生方がアイデアを出し、積極的な運用ができた。
進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> ○効率的・効果的な進路指導の確立 ○教科と連携した進路指導の充実 	<ol style="list-style-type: none"> 1 進路指導支援システムを作成する。(2年計画、最終年度) 2 教科との連携による小論文指導体制を構築する。 3 進路指導室の積極的な生徒利用。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 過去3年分のデータから、担当が保護者会で利用できるように取り組むことができた。 2 国語科の協力により、夏季休業中に小論文指導、校内選考後に、志望理由書等の指導を実施した。 3 受験結果報告書等を教室、進路指導室に分けて置くことで、相談しながら利用するようになった。

項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
総合 ビジネス科	○インターンシップの充実を目指すし、校内・校外の連携を図る ○ビジネスマナーおよびプレゼン能力の育成	1 新しい職種の受け入れ企業10%増を目指す。また、職場体験を通してコミュニケーション能力や商業技能の習得を目指す。 2 授業やインターンシップの活動を通じて、ビジネスマナー及びプレゼン能力の向上を図る。	1 新しい受け入れ企業として、市役所や大手スーパー、保育園などの8事業所が増え、生徒の希望職種が広がった。 2 インターンシップ報告のプレゼンテーションを実施し、職業意識が高まり、将来について前向きに考える生徒が増えた。
情報科	○情報社会において適切な行動するための基になる知識や考え、態度を身につける ○高度資格取得への挑戦	1 個人情報保護、人権侵害、著作権等に関する知識を深め、ネットワーク上のルールやマナーを学ぶとともにその危険性を理解させる。 2 国家試験・検定試験に積極的に挑戦する。(前年度20%増)	1 生徒指導部による情報モラル教室をはじめ、授業中でもSNSの利用上の問題や著作権について注意を促した。 2 国家試験の団体申し込みが可能な人数が集まった。個人申し込みもいるので、学校経由で申し込みをさせていきたい。
1年学年会	○気持ちの良い挨拶をできるようにする ○高校生活に適応し、基本的な生活習慣を確立させる ○素直な気持ちで、思いやりを持ち行動できるようにする	1 挨拶をする意味を理解させ、まわりの人と円滑な人間関係を築けるように指導する。 2 自ら考え、正しい行動ができるように働きかける。 3 新しい自分を発見できるようにいろいろなことに挑戦させる。 4 年間学年皆勤60日以上、年間皆勤者130名以上を目指す。	1 各クラスで人間関係を築くことができ、ほとんどの生徒が休むことなく登校することができた。挨拶は4月に比べるとやや元気がなくなってしまったように感じる。 2 学年LTなどを通して、自ら考えて実行することができた。 3 学年皆勤は9日、年間皆勤者は127人(2/17付)であった。
2年学年会	○自主自律の精神を確立する ○素直な気持ちで、思いやりを持ち行動できるようにする ○基本的な生活習慣の確立	1 行事などを通して、自ら考え、正しい行動ができるように働きかける。 2 日常の生活に於いて、素直な気持ちを持ち、心から挨拶をし、まわりへの気遣いができるように指導する。 3 正しい身だしなみ・言葉遣い・話を聞く態度などを身につけさせる。 4 体調管理などを意識させ、欠席を減らし、年間皆勤150名以上を目指す。(55%、昨年度50%)	1 東商祭、修学旅行などの学校行事を経験し、自ら考え、行動することができる生徒が多くなった。 2 素直な気持ちをもっているが、なかなか行動に移せない生徒もおり、これからも引き続き指導していく必要がある。 3 身だしなみなどの乱れは少なく、落ち着いた雰囲気での学校生活を送れている。 4 皆勤者は146名53%(1/31現在)である。

項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
3年学年会	<p>○能力・適性に合った志望進路の実現</p> <p>○最高学年としての自覚の啓発</p> <p>○自ら考え行動できる姿勢の確立</p>	<p>1 個人面談を通して、個々の生徒に能力・適性に合った進路指導を行う。</p> <p>2 進路指導部と連携し、進路実現に向けた指導・助言を行う。</p> <p>3 学年集会やガイダンスを通して、進路実現後も人間としての豊かな能力や個性の育成を図る。</p> <p>2 年間皆勤160名以上および遅刻指数の減少(昨年0.60から0.30程度へ)を目指す。</p>	<p>1 1年次より進路講話やガイダンス等のさまざまな視点からのキャリア教育を実施した。年内にほとんどの就職希望者が進路決定できた。</p> <p>2 担任会に進路指導主事も参加していただき、進路指導部と情報交換を図り、連携をとることができた。</p> <p>3 92.9%の生徒が県の技術顕彰証書を取得できたことは評価できる。ただし、年末から3学期にかけて、生徒の間で少し緊張感が緩む傾向が見られた。卒業後の生活を含めた、長期的な展望をもてるように指導が必要であった。</p> <p>4 1月末現在での皆勤者は166名(65.4%)である。出席に対する意識は高いと思われるが、一部の生徒の欠席・遅刻が例年に比べて多く、遅刻指数は昨年度から横ばい状態(0.60)であった。継続的な指導を行ったが、なかなか減少しなかったことが反省点である。</p>
総合評価	<p>各分掌・学年・教科において、それぞれが学校目標を軸に、年度当初に設定した課題に積極的に取り組むことができた。本校が独自で生徒に実施している社会人基礎力アンケートでは、高校3年間で社会人としてしっかりと成長できている結果が立証された。地域連携をはじめ、生徒たちが活躍できる仕掛けを多く設定することによって、自己肯定感が強まり、本校への帰属意識も生まれていると感じる。来年度は創立50周年を迎える。本校生徒たちが、学校生活の中でますます輝けるような仕掛けを処々にもちながら、教職員及び生徒が安心・安全な学校生活を送れるように取り組んでいく。</p> <p>教職員の働き方改革については、本年度より開錠時間・施錠時間を設定した。そのおかげか、在校時間も短縮され、先生方のよりよいライフワークバランスを考えるきっかけにもなった。今後も、業務の適正化やスリム化を念頭に入れながら、働き方改革に取り組んでいく。</p>		

イ 学校関係者評価結果等

<p>学校関係者評価を実施した主な評価項目</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら考え自ら学び自ら行動する力をもった人材の育成 ・実学教育を推進し、コミュニケーション能力を身に付けた人材の育成 ・安心安全な環境づくりと心身ともに健康な人材の育成 ・人権を尊重する精神を重んじ、互いを思いやり「いのち」を大切にすると心と態度の育成 ・授業内容の改善と家庭学習の充実 ・キャリア教育・進路指導の充実と多様化する進路の実現 ・ボランティア・地域貢献活動等の取組 ・在校時間等の状況記録の結果を活用し、業務の適正化を図るとともにストレスチェックの結果の活用や高ストレス者に対する医師の面接指導を通じて教職員の確実・適切なメンタルヘルスの保持に努める
<p>自己評価結果について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も1時間の授業を通して「何ができるようになったか」を念頭にいれながら、授業改革をすすめられるように、工夫及び改善を促すことができた。そのため、主体的で対話的な深い学びを意識したAL等の授業実践が多く見られるようになった。 ・欠席・遅刻数が例年に比べ増加した。大半の生徒は基本的な生活習慣が確立しており、挨拶をはじめ地域での評判もよい。早退については、減少傾向にある。 ・特別な支援を必要とする生徒に対して、生徒相談係を中心にきめ細く対応することができた。 ・地域貢献活動については、より一層の地域からの東海商業高校に対する評価は高くなっている。今後もさまざまな活動に生徒を参加させていきたい。 ・学期ごとの全生徒を対象にした「いじめアンケート」の実施により、いじめの早期発見や適切な対応につなげることができている。
<p>今後の改善方策について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価アンケートなどの分析をさらに進め、特色のある学校づくりを推進していく。 ・生徒が主体的に取り組める授業を目指し、新たな教育課程に向けて取り組む必要がある。 ・保護者、地域、企業、行政等の協力をいただきながら、インターシップ、地域貢献活動を継続的に取り組んでいき、社会人基礎力の向上に努めていく。
<p>その他（学校関係者評価委員から出された主な意見、要望）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東海商業は良い文化を引き継ぎ、新しいチャレンジがある。良い校風がみられる。 ・進路に係る面接指導について、対応力をつける必要がある。私が勤めている職場においても、言われたことはやるが、自分では考えられない若者がいる。 ・校内での挨拶は素晴らしいものがある。地域に若いエネルギーをもらいたいので最寄り駅改札でもさわやかな挨拶ができると地域がもっと明るくなる。 ・課題研究発表会での司会を生徒が行っていた。正直チャレンジだと思ったが、実際に見てみると大変落ち着いて、場慣れしていると感じた。ぜひ継続してもらいたい。 ・本校校舎は老朽化が進み雨漏りが激しいが何とか改修できないか。
<p>学校関係者評価委員の構成及び評価時期</p>	<p>構 成 P T A代表（顧問、副会長2名）、地域代表</p> <p>評価時期 令和元年6月19日、令和2年3月4日</p>

(5) 経営管理上の問題点等

- ・特になし。